

別紙様式 1

令和5年度 事前評価実施地区一覧表

森林管理局 近畿中国

整理 番号	都道 府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 B (千円)	総費用 C (千円)	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考
									I 必須事項					II 優先配慮事項										
									1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等						
														(1)		(1)	(1)	(3)						
														①	②			①	②	③	④	⑤		
1	兵庫県	兵庫森林管理署	環境保全	揖保川	いぼがわ	13,594,971	2,915,059	4.66	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A
2	和歌山県	和歌山森林管理署	環境保全	紀南	きなん	12,388,459	2,720,195	4.55	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A
3	島根県	島根森林管理署	環境保全	高津川	たかつがわ	10,531,495	1,611,501	6.54	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A
4	岡山県	岡山森林管理署	環境保全	旭川	あさひがわ	8,499,038	3,081,425	2.76	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A
5	広島県	広島森林管理署	環境保全	太田川	おおたがわ	9,966,574	2,034,016	4.90	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A

【記載要領】

1. 治山事業、森林整備事業ごとに別葉とする。
2. 事業実施主体は、事業を実施する森林管理署等の名称を記載する。
3. 事業名は、治山事業にあつては、「国有林治山事業実施要領」の第3に定める事業区分を記載する。
森林整備事業にあつては、森林環境保全整備事業を記載する。
4. 事業実施地区名は、運用第2の区分による。事業実施地区名には、ふりがなを付す。
5. 総便益及び総費用は、千円未満四捨五入とし千円単位で記載する。
6. 分析結果は、少数点以下第3位四捨五入とし小数点以下第2位まで記載する。
7. チェックリストの各項目は、各判定基準に基づき、必須事項については「○」又は「-」を、優先配慮事項については「A」、「B」、「C」又は「-」を記載する。

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和 6 年度～令和 10 年度（5 年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（いぼがわ） 揖保川森林計画区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、兵庫県姫路市を含む 5 市 6 町に所在する 15 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、兵庫県南西部に位置し、北は鳥取県及び^{まるやまがわ}円山川森林計画区、東は^{かこがわ}加古川森林計画区、西は岡山県に接し、南は瀬戸内海に面しており、北西部の中国山地^{せきりょう}脊梁部を中心に比較的大きな団地が所在し、瀬戸内海沿岸部に小さな団地が散在している。</p> <p>本計画区内の森林面積 180 千 ha に占める国有林野の割合は 8% と低いものの、国有林野面積の 80% が水源かん養保安林に指定されており、下流部の水源^{かん}涵養機能の確保に重要な役割を担っている。</p> <p>また、本計画区の国有林は、瀬戸内海国立公園、^{ひょうのせんうしろやまなぎさん}氷ノ山後山那岐山国立公園及び^{おんずい}音水ちくさ県立自然公園等の一部を形成し、豊かな森林景観を有しており、登山や自然を探訪するなど森林を利用したレクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用される観光資源ともなっている。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が 59% と兵庫県内の民有林の人工林率 42% に対して高い水準にあるとともに、森林蓄積の約 8 割が 10 齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造成すべき段階にある。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト削減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td style="text-align: right;">187 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-right: 10px;">保育面積</td> <td style="text-align: right;">3,278 ha</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">路網整備</td> <td style="padding-right: 10px;">開設延長</td> <td style="text-align: right;">1.65 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-right: 10px;">改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.61 km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 2,500,522 千円（税抜き 2,273,201 千円） 	森林整備	更新面積	187 ha		保育面積	3,278 ha	路網整備	開設延長	1.65 km		改良延長	0.61 km
森林整備	更新面積	187 ha											
	保育面積	3,278 ha											
路網整備	開設延長	1.65 km											
	改良延長	0.61 km											
費用便益分析	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">13,594,971 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">2,915,059 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">4.66</td> </tr> </table>	総便益（B）	13,594,971 千円	総費用（C）	2,915,059 千円	分析結果（B／C）	4.66						
総便益（B）	13,594,971 千円												
総費用（C）	2,915,059 千円												
分析結果（B／C）	4.66												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>定量的な費用対効果分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては、現地の地形、地質に適した工種によって、森林整備箇所へのアクセスを向上させ、また、森林整備においても現地状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことにより、コストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：兵庫県

施行箇所：揖保川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,890,385	
	流域貯水便益	753,027	
	水質浄化便益	3,062,061	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,368,378	
環境保全便益	炭素固定便益	386,002	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	17,685	
	木材利用増進便益	71,319	
	木材生産確保・増進便益	176,544	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,869,570	
総 便 益 (B)		13,594,971	
総 費 用 (C)		2,915,059	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,594,971}{2,915,059} = 4.66$		

森林環境保全整備事業 揖保川森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】

森林整備	更新面積	187 ha
	保育面積	3,278 ha
路網整備	開設延長	1.65 km
	改良延長	0.61 km



加古川森林計画区

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（きなん） 紀南森林計画区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、和歌山県^{たなべ}田辺市を含む2市7町1村に所在する11千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、和歌山県南部に位置し、北は三重県、奈良県、^{きちゅう}紀中森林計画区に接し、西部から南部を経て東部にかけては^{きい}紀伊水道、^{くまのなだ}熊野灘に面しており、北部の^{はて}果なし山脈と南部の^{ひきがわ}日置川、熊野川の水源地帯、^{おおはま}大浜海岸などに大小の団地が散在している。</p> <p>本計画区内の森林面積211千haに占める国有林野の割合は5%と低いものの、国有林野面積の92%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源^{かん}涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の一部の国有林は、世界文化遺産や「^{よしの}吉野熊野国立公園」等に指定されており、その豊かな森林景観から地域の重要な観光資源にもなっており、ハイキングや自然散策など森林を利用した保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が52%と和歌山県内の民有林の人工林率61%に対して低い水準にあるが、一方で森林蓄積の約9割が10歳級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造成すべき段階にある。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト削減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 10px;">更新面積</td> <td style="text-align: right;">315 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-right: 10px;">保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,398 ha</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">路網整備</td> <td style="padding-right: 10px;">開設延長</td> <td style="text-align: right;">1.00 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-right: 10px;">改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.27 km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 2,612,441 千円（税抜き 2,374,946 千円） 	森林整備	更新面積	315 ha		保育面積	2,398 ha	路網整備	開設延長	1.00 km		改良延長	0.27 km
森林整備	更新面積	315 ha											
	保育面積	2,398 ha											
路網整備	開設延長	1.00 km											
	改良延長	0.27 km											
費用便益分析	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">12,388,459 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">2,720,195 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">4.55</td> </tr> </table>	総便益（B）	12,388,459 千円	総費用（C）	2,720,195 千円	分析結果（B／C）	4.55						
総便益（B）	12,388,459 千円												
総費用（C）	2,720,195 千円												
分析結果（B／C）	4.55												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>定量的な費用対効果分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては、現地の地形、地質に適した工種によって、森林整備箇所へのアクセスを向上させ、また、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことにより、コストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：和歌山県

施行箇所：紀南森林計画区

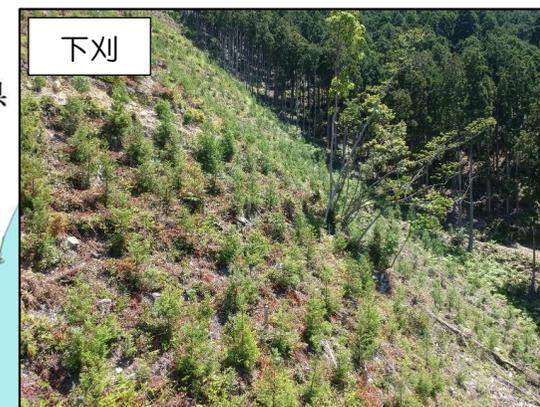
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,846,098	
	流域貯水便益	943,515	
	水質浄化便益	3,759,544	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,994,844	
環境保全便益	炭素固定便益	319,065	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,996	
	木材生産確保・増進便益	417,872	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,104,525	
総 便 益 (B)		12,388,459	
総 費 用 (C)		2,720,195	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,388,459}{2,720,195} = 4.55$		

森林環境保全整備事業 紀南森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】

森林整備	更新面積	315 ha
	保育面積	2,398 ha
路網整備	開設延長	1.00 km
	改良延長	0.27 km



熊野灘

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）									
事業実施地区名 （都道府県名）	（たかつがわ） 高津川森林計画区 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本事業は、島根県益田市を含む1市2町に所在する13千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、島根県西部に位置し、東は広島県、西から南にかけては山口県に接し、北は江の川下流森林計画区及び日本海に面しており、北部の海岸沿いに小団地が点在、中部から南部の中国山地の脊梁地帯に大小の団地が散在している。</p> <p>本計画区内の森林面積122千haに占める国有林野の割合は10%と低いものの、国有林野面積の97%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の一部の国有林は、「西中国山地国定公園」等に指定されており、渓谷や豊かな自然景観を有し、ハイキングやキャンプなどレクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が58%と島根県内の民有林の人工林率38%に対して高い水準にあるとともに、森林蓄積の約9割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造成すべき段階にある。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト削減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>377 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,338 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.75 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,507,247千円（税抜き 1,370,225千円）</p>			森林整備	更新面積	377 ha		保育面積	2,338 ha	路網整備	開設延長	0.75 km
森林整備	更新面積	377 ha										
	保育面積	2,338 ha										
路網整備	開設延長	0.75 km										

費用便益分析	<p>総便益（B） 10,531,495 千円</p> <p>総費用（C） 1,611,501 千円</p> <p>分析結果（B／C） 6.54</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>定量的な費用対効果分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 路網整備においては、現地の地形、地質に適した工種によって、森林整備箇所へのアクセスを向上させ、また、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことにより、コストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：島根県

施行箇所：高津川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,425,812	
	流域貯水便益	743,696	
	水質浄化便益	2,859,820	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,653,921	
環境保全便益	炭素固定便益	349,207	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	6,233	
	木材生産確保・増進便益	251,020	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	241,786	
総 便 益 (B)		10,531,495	
総 費 用 (C)		1,611,501	
費用便益比		$B \div C = \frac{10,531,495}{1,611,501} = 6.54$	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（あさひがわ） 旭川森林計画区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、岡山県岡山市を含む3市2町1村に所在する10千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、岡山県中央部に位置し、北は鳥取県、東は吉井川森林計画区、西は高梁川下流森林計画区に接し、南は瀬戸内海に面しており、岡山県北部の中国山地及び中央の吉備高原に散在しているほか、南部の岡山平野に都市近郊林として点在している。</p> <p>本計画区内の森林面積137千haに占める国有林野の割合は7%と低いものの、国有林野面積の88%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の一部の国有林は、「大山隠岐国立公園」や「湯原奥津県立自然公園」等の自然公園に指定されており、ハイキングなどレクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が60%と岡山県内の民有林の人工林率38%に対して高い水準にあるとともに、森林蓄積の約9割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に再造成すべき段階にある。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト削減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p>		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岡山県

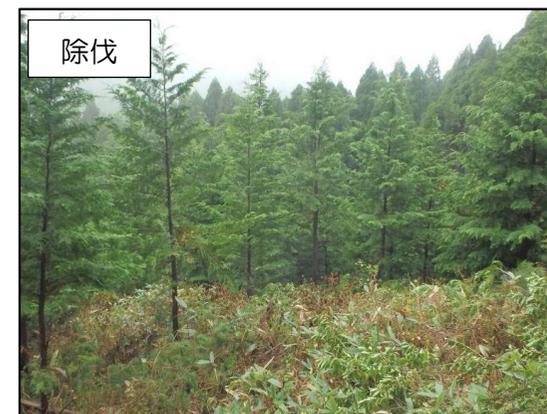
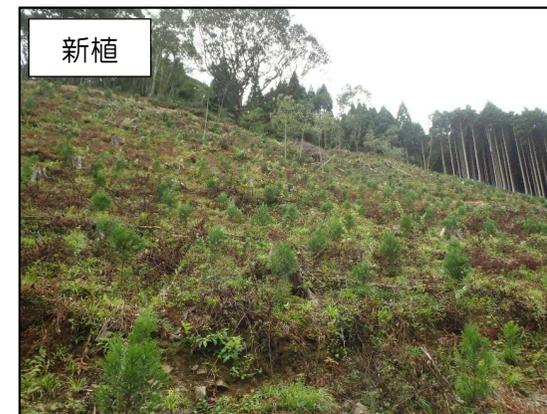
施行箇所：旭川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,193,870	
	流域貯水便益	532,009	
	水質浄化便益	2,110,981	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,437,089	
環境保全便益	炭素固定便益	466,409	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	1,099	
	木材生産確保・増進便益	424,142	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	333,439	
総 便 益 (B)		8,499,038	
総 費 用 (C)		3,081,425	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,499,038}{3,081,425} = 2.76$		

森林環境保全整備事業 旭川森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】	森林整備	更新面積	317 ha
		保育面積	2,800 ha
	路網整備	開設延長	1.01 km
		改良延長	0.03 km



事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおたがわ） 太田川森林計画区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、広島県広島市を含む3市6町に所在する14千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、広島県西部に位置し、西は山口県、北は島根県、東は江の川上流森林計画区及び瀬戸内森林計画区に接し、南は瀬戸内海に面しており、広島県西部の廿日市市に比較的大きな団地があるほか、広島市を中心に各所に点在している。</p> <p>本計画区内の森林面積196千haに占める国有林野の割合は7%と低いものの、国有林野面積の63%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源涵養機能の一端を担っている。</p> <p>また、本計画区の国有林は、世界文化遺産（厳島神社）や「瀬戸内海国立公園」等が指定されており、ハイキングなどレクリエーション、保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本計画区内の国有林は、人工林率が48%と広島県内の民有林の人工林率31%に対して高い水準にあるとともに、森林蓄積の約9割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっており、充実した森林資源を活用すると同時に計画的に再造成すべき段階にある。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に貢献するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト削減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p>		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：広島県

施行箇所：太田川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,101,154	
	流域貯水便益	627,219	
	水質浄化便益	2,466,334	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,086,135	
環境保全便益	炭素固定便益	260,971	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	36,661	
	木材利用増進便益	138,174	
	木材生産確保・増進便益	305,556	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,944,370	
総 便 益 (B)		9,966,574	
総 費 用 (C)		2,034,016	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,966,574}{2,034,016} = 4.90$		

森林環境保全整備事業 太田川森林計画区 事業概要図

【主な事業内容】 森林整備	更新面積	229 ha
	保育面積	2,745 ha
路網整備	開設延長	1.70 km
	改良延長	0.96 km

